

指定管理者評価シート[自己点検・所管課モニタリング用](令和5年度実績)

施設概要

施設名称	板橋区立熱帯環境植物館	所在地	板橋区高島平8-29-2
所管課名	資源環境部環境政策課	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(第4期)
指定管理者名	西武造園・横浜八景島・西武緑化管理共同企業体	指定管理者の所在地	代表企業:西武造園 東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
設置目的	区民に熱帯の植物及び生物の鑑賞の機会を提供し、自然環境保護に関する知識の普及啓発を図るとともに、余暇利用の増進に寄与することを目的とする。		
基本理念	(1)「板橋環境基本計画2025」での取り組みとして来館者数の増加を目指す。 (2)SDGsを推進し、自然の大切さと生物多様性を次世代に伝える。(重点項目) (3)植物・魚類の宝庫である東南アジアの熱帯雨林を再現し、身近な場所で熱帯の植物や生物に触れる・学べる体験を提供する。 (4)地域貢献及び近隣施設との連携		
行動規範	①関係法令やマニュアル等を遵守すること。 ②公平・公正なサービスの提供等に努めること。 ③効率的な運営を行い、管理運営経費の削減に努めること。 ④サービスの向上と利用者数増加の実現に努めること。 ⑤区及び区民、関係団体、官公庁等との連携を図った事業運営を行なうこと。		
業務内容	自然環境保護に関する知識の普及啓発及び実践の推進を図るとともに、余暇利用の増進に寄与することを目的とし、企画展、各種講座・講演会、音楽会、苗木植物配付など各種行事イベントを企画し、実施する。 利用者のニーズを反映させ、年間を通して集客効果が望めることを前提とし、以下の事業を実施する。 (1)植物や動物等、自然環境をテーマとする事業 (2)環境に配慮した新たなライフスタイルを提案する事業 (3)SDGsの普及・啓発を目的とする事業 (4)地域協働を目的とする事業 (5)ペナン植物園など東南アジアとの交流や、熱帯地方をテーマとする事業 (6)地域経済の活性化を図る事業 (7)館の特性(館内の景観等)を活用した事業 (8)大人の来館者が増える企画運営等 (9)館及び自然環境に関する情報発信を目的とする広報活動		

評価結果

評価項目	事業の目標と具体的な取組			一次評価(指定管理者による自己点検)							
				実施結果やサービス水準の増減理由など					評価点		
【施設の経営方針に関する事項】											
経営方針に基づく具体的な行動											
	基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値(経過)					評価点		
				R2	R3	R4	R5	R6			
	基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	(1)	自然について体験・学習できる場の提供	入館者数	目標	40,000	130,000	130,000	130,000	130,000	5 / 5
					実績	35,861	100,581	122,830	134,317		
増減理由	・新型コロナウイルス感染症の位置づけが 5 類感染症へ引き下げられ、規制や自粛の影響がなくなり、本格的にコロナ以前の賑わいを取り戻した一年であった。規制がなくなったことで、生きものとのふれあいイベントの再開や、XR 体験事業(少女と魔法のジャングル)協力など、様々な事業を実施することができ、入館者数は目標の 13 万人を超え、過去最高の人数となった。										

評価項目	事業の目標と具体的な取組		一次評価(指定管理者による自己点検)					評価点	
			実施結果やサービス水準の増減理由など						
	(2)	SDGsについて学ぶ場を提供 環境にまつわる企画展(小規模企画展講座・イベント含む)回数	目標	13	50	50	50	50	5 / 5
			実績	11	32	52	53		
			増減理由	・当館に関連するゴール(気候変動、海や陸の豊かさ、エネルギー、再利用等)について学ぶことができるよう、企画展示、小規模展示を通じて、ミニガイドやパネル展示を行うなど、様々なテーマでSDGsについて学ぶ場を提供した。 ・展示以外にも、ガイドや講座の場で、SDGsに関する学びとなるような話を交えながら、参加者に普及啓発を行った。 ・植物や生物をテーマとした講習会やトークイベントを行い、様々な方に学びの機会を提供した。 ・古くなった図書の無料提供を行い、学びの機会を提供するとともに、SDGsとのつながりを伝えるサービスを実施した。					
	(3)	楽しみながら学べる体験型施設を目指す 体験型イベント回数	目標	6	20	20	20	20	5 / 5
			実績	6	18	39	37		
			増減理由	・生きものとのふれあいイベントを望む声に応え、様々な企画を実施した。熱帯の昆虫と食虫植物展では、カブトムシとのふれあいを望む声に応え「カブトムシレクチャータイム」という解説とふれあいを合わせたイベントを行い、ヘラクレスオオカブトとふれあう機会を提供した。その他、ねったいかんフェスティバルではオオトカゲやケープペンギンとのふれあい企画を、体感水族館ではダイオウグソクムシやリクガメとのふれあい企画を実施した。					
	(3)	植物の知識の向上 ガイドツアー参加者数	目標	19	750	750	750	750	1 / 5
			実績	41	-	178	243		
			増減理由	・館内ガイドツアーは、ボランティアスタッフの意向もあり引き続き定員を設けながら実施した。目標の750人には届かなかったものの、令和4年度と比べ多くの方にご参加いただいた。(件数: +13件、人数: +65人)					
	(3)	植物の知識の向上 緑化相談件数	目標	300	700	700	700	700	5 / 5
			実績	90	599	422	783		
			増減理由	・巡回時や企画展開催時、植物販売、ガイドなど、お声掛けを行い、植物について説明を行った。 ・植物の配布を行いながら積極的にお声がけを行い、多くの質問に答えた。					
	(3)	環境への取り組み、地球温暖化に対する意識啓発 緑のカーテン用苗や、当館で育てた苗の配布数	目標	200	500	500	500	500	5 / 5
			実績	220	472	813	552		
			増減理由	・繁忙期やイベント、SDGs企画を通じて、植物の配布を行い、緑の普及、環境に関する啓発に努めた。 ・来館者が多くなるゴールデンウィークに合わせて苗の配布を実施し、緑の普及に努めた。 ・クリスマス展最終日に、展示に使用したポインセチアの配布をくじ引き形式で行い、楽しんで頂きながら緑化普及に努めた。					
	(4)	地域コミュニティ活性化・他施設との連携した環境教育 連携イベント回数	目標	3	4	4	4	4	5 / 5
			実績	1	5	5	5		
			増減理由	・感染症に対する規制が緩和されたことで、近年中止となっていた地域イベントが再開され、連携イベントへの参加を積極的に行った。 ・新たに小茂根図書館、高島平図書館との連携事業として、出張講座やパネル展示を行い、他施設と連携した環境教育の提供を行った。					

* サービス水準の採点方法

(5点:達成率100%以上、4点:達成率90%以上100%未満、3点:達成率70%以上90%未満、2点:達成率50%以上70%未満、1点:達成率50%未満)